

佐 潟 通 信

2008 年

36号

秋から冬へ



ふだんは少数派のヒシクイ



越冬数の多いミコアイサ



たくさんのコハクチョウ

水鳥が舞う冬になりました。3,000羽を越える白鳥やカモが佐潟をねぐらにしています。白鳥は朝7時頃から近くの田んぼへ次々と飛び立ちます。目の前で水面を蹴り、翼の羽音を聞くと彼らの大きさを感じます。また、天気の良い夕方は、水鳥のねぐら入りが美しく映えます。

野鳥の確認情報

10月 8日 アオアシシギ 確認

11月 1日 ハイイロチュウヒ 確認

10月11日 コハクチョウ 初認

11月 8日 カンムリカイツブリ 初認

10月14日 チュウヒ 初認

11月13日 ミコアイサ 初認

10月15日 セイタカシギ 初認

11月20日 ヨシガモ、オカヨシガモ 初認

10月21日 ハジロカイツブリ 初認

11月23日 オジロワシ 初認

保全・賢明な利用・学び

ヨシ刈りと水路「ど」の復元

10月にヨシの刈り出しと水路「ど」の整備事業が行われました。この事業は、佐潟の水質改善の一手段として佐潟周辺自然環境保全連絡協議会で議論され承認された新潟市の保全事業です。地元の赤塚自治会が委託を受けて、延べ百数十人の地元住民の手作業により行われたことが特徴です。かつての佐潟の環境を熟知する住民の関わりは、今後の佐潟の保全の要になります。



左:手掘りによる水路整備

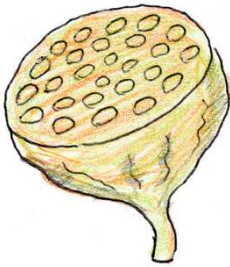
右:ヨシ刈り後の観察舎脇

下:水路のセグロセキレイ



佐潟ハス染め体験～ワイズコースの試み

10月21日、佐潟の岸边に流れ着くハスの花托（枯れトバス）を使っての染めもの体験が行われました。20名の参加者が、講師で染色家の星名康弘さん(工房浜吾)の指導で、時間を掛けて作品を完成させました。各々好きなように木綿のハンカチに輪ゴムでつまみ止め、トバスの染め液の中へ入れます。しばらくしてから水ですすぎ、この作業を3回繰り返し、ゴムを解いて脱水すれば出来上がりです。やわらかな薄茶色の染め上がりに皆さん大満足でした。



佐潟探鳥散歩(月例探鳥会)



佐潟ボランティア解説員の皆さんがやさしく解説、案内いたします。
気軽にご参加ください。

開催日：毎月第2第4土曜日

1月12日(土)・26日(土) 7:30～9:00

2月9日(土)・23日(土) 7:30～9:00

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9:00～16:30(冬期間11月～2月の間の土・日は7:00から)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にFAXかE-mailをください。

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1

電話 025(264)3050 / fax025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所区民生活課

〒950-2054 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話 025(264)7261

